

気をつけよう！感染症（令和7年第3号）

令和7年2月5日発行
松本市保健所保健予防課

いま気をつけたい 肺 NTM 症

肺 NTM 症とは？

肺 NTM 症は、NTM 菌（非結核性抗酸菌）に感染することで発症する呼吸器感染症です。近年、増加傾向にあることがわかっています。

○人から人には感染しない

NTM 菌は結核菌と同じ抗酸菌と同じグループに属し、結核と症状が似ていますが、別の病気です。

	肺結核	肺 NTM 症
菌がいる場所	人の体内	水や土壌などの自然環境 水まわりなどの生活環境
感染経路	人から人	環境から人
症状	長引く咳・痰、血痰・喀血、発熱、体重減少など	
	急激に悪化することがある	多くはゆるやかに進行

○どんな人に多い？

菌を吸い込んだとしても、ほとんどの人は肺 NTM 症を発症することはありません。はっきりとした原因はわかりませんが、**中高年のやせ型の女性に多い**といわれています。

○治療について

薬による治療を行う場合は、1年以上の長期にわたって薬を飲みます。再発がまれではなく、治療終了後の経過観察が重要です。

予防のポイント

菌を繁殖させない

家の中では、浴室や台所などの水まわり（排水口や給湯口、シャワーヘッドなど）にいて、特にぬめりは菌の温床になっています。



- ・お風呂のお湯は毎日取り替え、浴槽の清掃を行いましょう。
- ・掃除用具にも菌がいる可能性があるため、60℃以上のお湯で洗うなど清潔に保ちましょう。
- ・循環式浴槽（追い炊き機能付き風呂・24時間風呂など）の場合、浴槽や配管にぬめりが生じないように定期的に洗浄し、取扱説明書に従って維持管理しましょう。

菌を吸い込まない

浴室や台所などの水まわり（特にぬめり）を掃除するときや、ガーデニングなどで土いじりをする際にはマスクを着用し、しぶきや土埃などを吸い込まないようにしましょう。



松本市感染症情報

2025年第5週(01月27日～02月02日)

※速報値

今週の発生状況

○全数把握感染症

今週は百日咳の発生が1件ありました。

現在、百日咳が松本市内において増加傾向にあります。咳が長く続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

○定点把握感染症

感染性胃腸炎が増加傾向です。食事の前、トイレの後など流水と石けんでの手洗いを徹底しましょう。

【定点把握感染症報告状況】

インフルエンザ/COVID-19 (10定点)

疾病名	年齢	～5か月	～11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計	前週状況	定点あたりの報告数	注意報基準	警報基準
インフルエンザ	男			3	1	2	2	4	1	3	1		7	7	1	2	3	6	3	1		47	91	8.80	10	30
	女			1	3		1		2			4	6	6		3	5	4	1	3	2	41	86			
COVID-19	男				2						1	2	3	2		5	7	5	2	2	5	36	37	6.80		
	女		1	1			2					2	2	2	2	7	2	6	3	1	3	32	27			

小児科 (6定点)

疾病名	年齢	～5か月	～11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上	合計	前週状況	定点あたりの報告数	注意報基準	警報基準
RSウイルス感染症	男															0	3	0.33		
	女		2													2	2			
咽頭結膜熱	男	1							1							2	1	0.50		3
	女								1							1	0			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男										1					1	5	0.33		8
	女												1			1	4			
感染性胃腸炎	男		1	3	2	1	2	6	2	2	2		5	1	3	30	18	8.50		20
	女			2	2	2	1			3	2		4	1	4	21	17			
水痘	男															0	0	0	1	2
	女															0	1			
手足口病	男								1							1	1	0.17		5
	女															0	0			
伝染性紅斑	男						1		1	1		2				5	1	1.00		2
	女									1						1	3			
突発性発しん	男															0	0	0		
	女															0	1			
ヘルパンギーナ	男															0	0	0		6
	女															0	0			
流行性耳下腺炎	男															0	0	0	3	6
	女															0	0			

眼科 (1定点)

疾病名	年齢	～5か月	～11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計	前週状況	定点あたりの報告数	注意報基準	警報基準
急性出血性結膜炎	男																				0	0	0		1
	女																				0	0			
流行性角結膜炎	男																				0	0	1.00		8
	女																1				1	0			

基幹 (1定点)

疾病名	年齢	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計	前週状況	定点あたりの報告数
細菌性髄膜炎	男																	0	0	0
	女																	0	0	
無菌性髄膜炎	男																	0	0	0
	女																	0	0	
マイコプラズマ肺炎	男																	0	0	0
	女																	0	0	
クラミジア肺炎	男																	0	0	0
	女																	0	0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																	0	0	0
	女																	0	0	

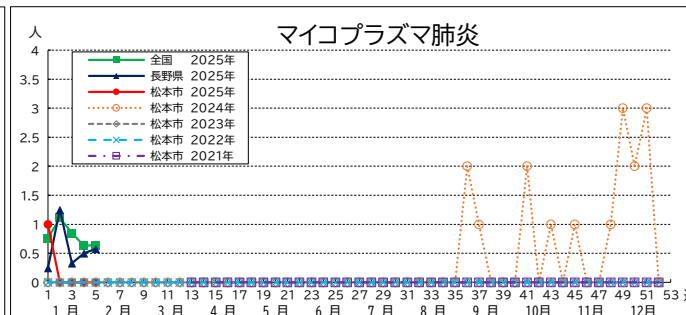
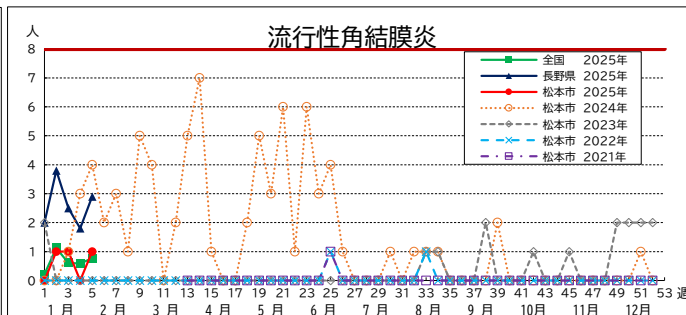
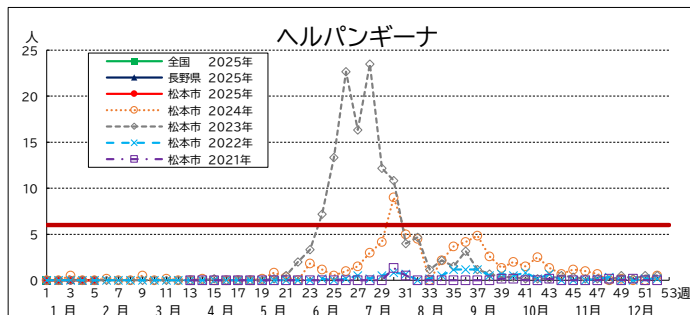
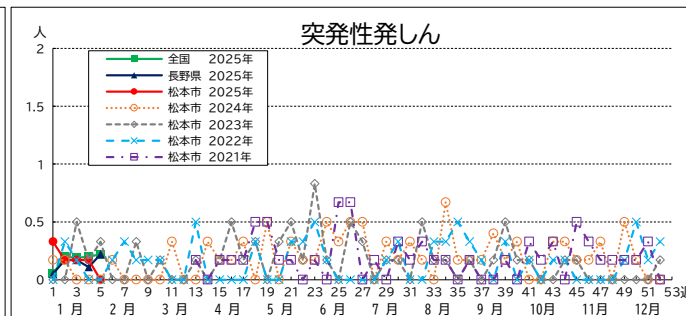
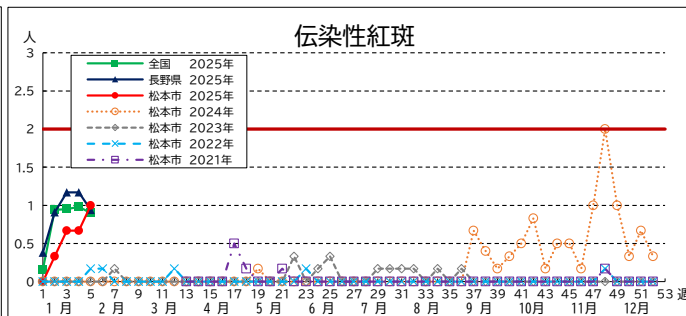
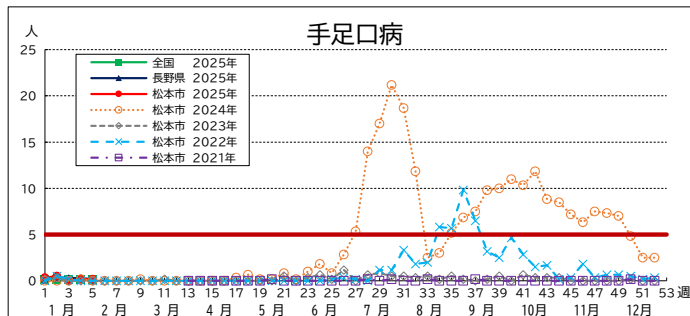
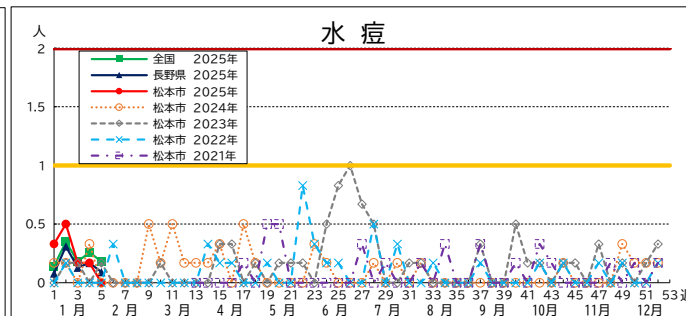
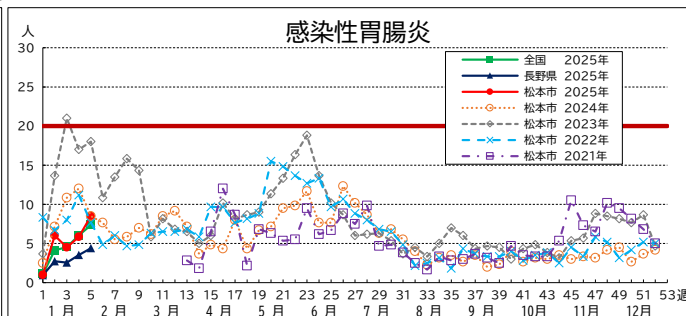
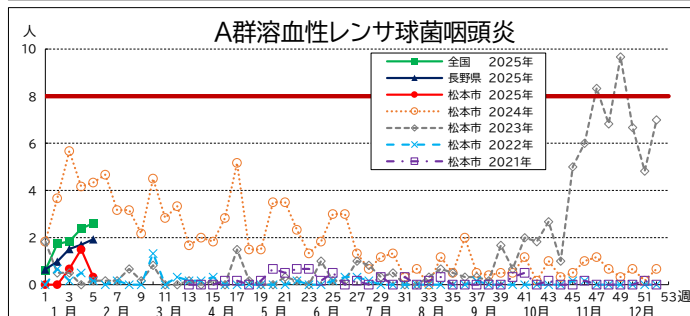
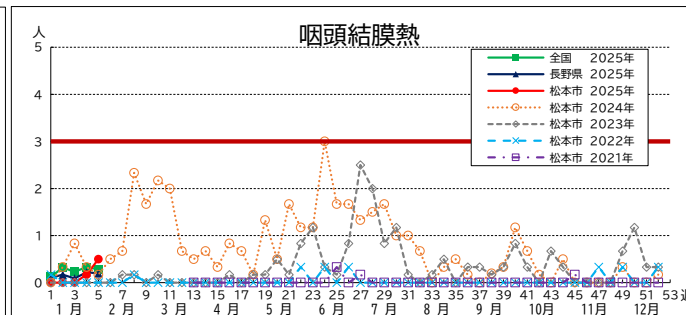
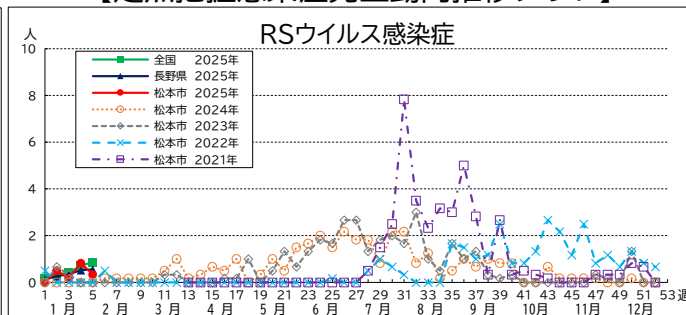
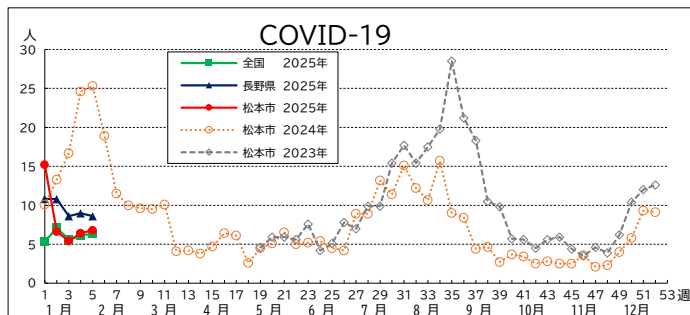
●警報基準を超える疾患:なし

●第6週は2月12日(水)掲載予定です。

●注意報基準を超える疾患:なし

●松本市インフルエンザ情報を掲載しています。

【定点把握感染症発生動向推移グラフ】



(人数は1定点当たりの報告数)

【全数把握感染症届出状況】(2025年1月～)

	一類(7)							二類(7)							三類(5)					四類(4)			
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群(SARS)	中東呼吸器症候群(MERS)	鳥インフルエンザ(H5N1)	鳥インフルエンザ(H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	ウエストナイル熱(脳炎)	A型肝炎	エキノコックス症
松本市 今週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市 累計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市2024年(参考)	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	2	0	0	0

	四類(44)																						
	黄熱	オウム病	オムスク出血熱	回歸熱	キャサナル森林病	Q熱	狂犬病	コクシジオイデス症	エムボックス	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	腎症候性出血熱	西部ウマ脳炎	ダニ媒介脳炎	炭疽	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	東部ウマ脳炎	鳥インフルエンザ	ニパウイルス感染症	日本紅斑熱	日本脳炎
松本市 今週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市 累計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市2024年(参考)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

	四類(44)																	五類(24)					
	ハンタウイルス 肺症候群	Bウイルス 病	鼻疽	ブルセラ症	ペネズエラ ウマ脳炎	ハンドラ ウイルス 感染症	発しん チフス	ポツリヌス 症	マラリア	野兔病	ライム病	リッサ ウイルス 感染症	リフト バレー熱	類鼻疽	レジオネラ 症	レプトスピ ラ症	ロッキー山 紅斑熱	アメーバ 赤痢	ウイルス性 肝炎 (A・E型除く)	CRE 感染症	急性弛緩性 麻痺(急性灰 白髄炎を除く)	急性脳炎 (日本脳炎 等を除く)	クリプト スポリジウ ム症
松本市 今週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市 累計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市2024年(参考)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	1	0	2	0	0	0

※CRE・・・カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

	五類(24)																	
	加伊エル・ヤコ病	劇症型溶血性レチ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院)	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	VRSA感染症	VRE感染症	百日咳	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネタ菌感染症
松本市 今週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
松本市 累計	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0
松本市2024年(参考)	1	14	0	0	4	0	2	1	0	18	1	0	0	0	4	0	0	0

<松本市ホームページ 感染症情報>

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/230/1552.html>

<長野県ホームページ 長野県感染症情報>

<https://www.pref.nagano.lg.jp/hoken-shippei/kenko/kenko/kansensho/joho/index.html>

<厚労省ホームページ 感染症情報>

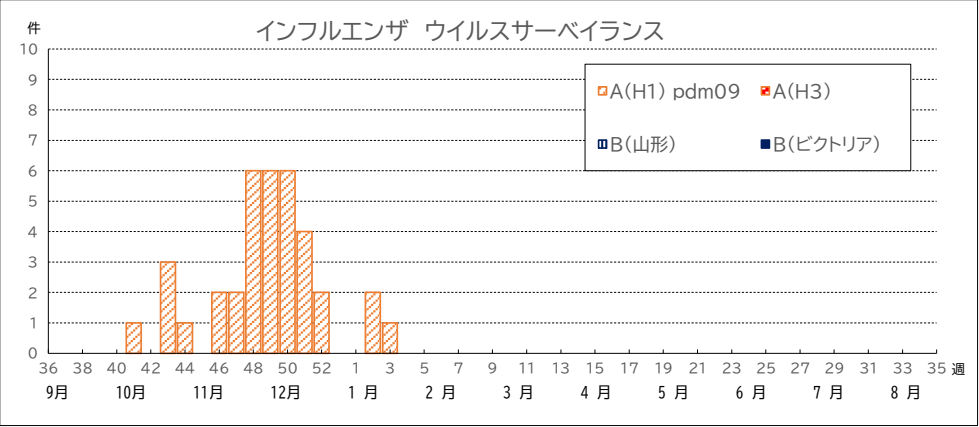
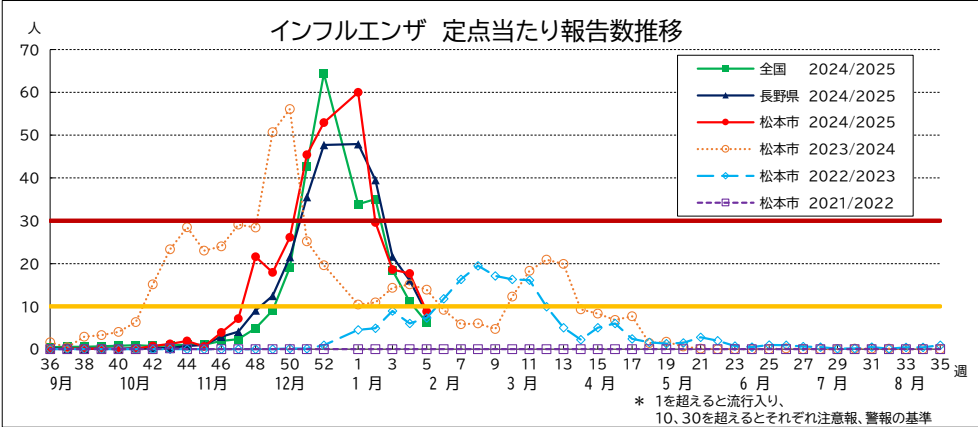
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/index.html>

<松本市ホームページ インフルエンザ(季節性インフルエンザ)>

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/230/1550.html>

松本市インフルエンザ情報(2024-2025シーズン)
2025年第5週(01月27日~02月02日)

※速報値



○インフルエンザウイルスサーベイランス

週数	検体数	A(H1) pdm09	A(H3)	B(山形)	B(ビクトリア)	その他	不検出	検査中
第01週 (12/30~1/5)	0							
第02週 (1/6~1/12)	3	2						1
第03週 (1/13~1/19)	8	1						7
第04週 (1/20~1/26)	3							3
第05週 (1/27~2/2)	0							
今シーズン累計(2024年第36週から)	60	36	2	0	1	0	8	13
前シーズン累計(2024年第19週まで)	164	38	93	0	26	0	7	0
前々シーズン累計(2023年第35週まで)	108	0	95	0	5	0	8	0

*検体採取日を基準とする

○インフルエンザ集団発生サーベイランス

週数	学校等欠席情報								社会福祉施設集団発生			
	休校・休園数	学年閉鎖数	学級閉鎖数	施設数					児童福祉施設	高齢者施設	障がい者施設	その他
				幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他				
第01週 (12/30~1/5)												
第02週 (1/6~1/12)			1				1				1	
第03週 (1/13~1/19)			6		1	1	1		1			
第04週 (1/20~1/26)			4	1	2		1			1		
第05週 (1/27~2/2)			8		2	2	1					
今シーズン累計(2024年第36週から)	1	1	120	4	41	16	8	2	9	2	1	0
前シーズン累計(2024年第19週まで)	3	29	280	12	115	40	13	7	27	1	1	0
前々シーズン累計(2023年第35週まで)	0	3	88	6	34	9	2	3	13	0	0	0

*学校等欠席情報は、休校・休園、学年閉鎖、学級閉鎖等の措置件数及び施設数の延べ数を公表する。週数については措置開始日を基準とする。

*社会福祉施設集団発生は、①重篤または死亡者が2名以上の発生。②患者が10名以上の発生。のいずれかが発生した施設数を公表する。

週数については施設からの報告日を基準とする。